

治療審査委員会申請書類

患者ID : 0

患者氏名	0		生年月日	明治33年1月0日		年齢	0	性別	0								
診療科	0	区分	☐	階病棟	☐	外来	申請医師名										
診断名						Stage											
告知内容																	
治療方法	プロトコール名 DS(DTX+S1)療法					告知Grade											
投与計画	身長		0	cm	体重		0	kg	体表面積	0	m ²						
	血清クレアチニン			ml/dl	Cockcroft-Gault 推算Ccr		性別無し ml/min										
	※女性は0.85を掛けています																
	《適応》 治療切除後のpStageⅢ胃癌に対する術後補助化学療法																
	1コース S1 80 mg/日 分2 2投1休 (BSA1.25m ² 未満 80mg/日; 1.25~1.5m ² 未満 100mg/日; 1.5m ² 以上 120mg/日) インターバル 3週																
	↓																
	2~7コース S1 80 mg/日 分2 2投1休 ドセタキセル 0 mg(標準量 40mg/m ²) day1 (※2~7 コース目に投与) インターバル 3週																
	↓																
	8~12コース S1 80 mg/日 分2 4投2休 インターバル 6週																
	治療期間 1年間 Day1(※2~7コース) ① パロセトロン点滴静注バッグ0.75mg/50ml + アロカリス235mg 1V + デキササート1.65mg<3A> [4.95mg] 120ml/hr 30分かけて投与 ② 生食 100ml (本体ルートに使用) ③ ドセタキセル 0 mg + 生食 250ml 250ml/hr 制吐剤 デカドロン錠4mgは省略(症例に応じ追加;1回1錠 1日1回朝食後 2-3日目に内服) 《S1 腎機能障害時の用量調節》 <table><tr><td>Ccr≥80</td><td>60~80</td><td>30~60</td><td>Ccr≤30</td></tr><tr><td>減量なし</td><td>初回投与量 (必要に応じ1段階減量)</td><td>1段階以上の減量</td><td>投与不可</td></tr></table>										Ccr≥80	60~80	30~60	Ccr≤30	減量なし	初回投与量 (必要に応じ1段階減量)	1段階以上の減量
Ccr≥80	60~80	30~60	Ccr≤30														
減量なし	初回投与量 (必要に応じ1段階減量)	1段階以上の減量	投与不可														
併用薬の確認	併用禁忌: 他のフッ化ピリミジン系抗悪性腫瘍薬、フッ化ピリミジン系抗真菌薬 併用注意: フェニトイン(血中濃度上昇によるフェニトイン中毒発現の恐れあり)、ワルファリン(作用増強)																
B型肝炎check	HBs抗原()⇒HBc抗体(), HBs抗体()⇒HBV核酸定量 0.9LIU/ml ()																
予測される副作用	Grade3以上の有害事象; DS療法群がS1群に対して好中球減少(38.1%vs16.1%)、FN(4.7%vs0.3%)、倦怠感(51.9%vs35.9%)、脱毛(57.8%vs3.4%)とDS群において高い。 同程度の頻度; 口腔粘膜炎や下痢(Grade3以上は2~8.9%) JACCRO GC-07(START-2)試験																
備考																	
採否	☐ 承認 ☐ 再検討 ☐ 不許可																

担当委員署名

許可決定日時 年 月 日 有効期限 年 月 日